



「もぐらの目」 (二十一)  
お尻の始末まで電気に頼る私としたことが  
言えた義理ではないかも知れないが……

鶴島緋沙子

今、二〇一一年七月。この時、ペンを持つ誰しもが、四ヶ月前に東北地方を襲った「東日本大震災」を素通りしてものを書くわけにはいかないだろう。私として例外ではない。

これは、日本の、世界の、いや宇宙に生きる生物のすべてに警告を発するための地球の地殻変動に相違ないと思えるからだ。人間ばかりではない。普段は、地中で密かに暮らしている我がもぐら一族も根こそぎ押し流されてしまったに違いない。

かなり永く人間を標榜して、この世に、そして日本という国に生きてきた私は今までに三度の天変地異を経験している。その中で完全に天変地異と言えるものは、一九九五年の阪神大震災だけだろう。しかしその時として、高層ビルやマンション、高速道路など、人間がより便利にと思つて作つて

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」や、「私の中の瀬戸内寂聴」(いずれも、つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家ですが、「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の代表です。「もぐらの目」は、隔月連載の予定。これまでの連載をまとめた著書「もぐらの目」が昨年末、つげ書房新社から発刊されました。

URL : <http://zz.tc/tommy>

きたものが、すべて良しではなかった教訓を私たちは、体験したはずだ。

当時、隣接した大阪府に住みながら、幸い被害を受けなかった私は、育ち親しんだ兵庫県西宮市在住の知人や友人たちの消息も分からないまま、取りあえず、ペットボトルの水を入れるだけリュックに詰め、JR、阪急、阪神と、いくつもの電車が行きかい高速道路にも車が溢れていた一週間前の都会の風景から一変、西に向かうほど周りの状況が無残になる旧阪神国道を人々の行列に従ってひたすら神戸に向かって歩いた。東京にいる友人の妹が住んでいる神戸の高層マンションのエレベーターが動かず、八階の住まいまで毎日水を運ぶために、階段を上がり降りするという、想像するのも辛い話を聞いたからだ。その時、本人には会えなくて水だけを託して帰ったが、震災から一年ほど経って彼女が亡くなったと友人から聞いた。震災そのものだけではない、そのあとの言い尽くせぬ疲労が多くの人々の命を奪ったに違いない。明らかで華やかだった彼女の笑顔は今も忘れがたい。それよりずっと遡る一九四五年七月、六ヵ月近

くにわたる岡山県の山村の学童集団疎開から西宮市に帰ったのは、日本の敗戦で第二次大戦が終結する一ヶ月ほど前、待ちかねて迎えに来てくれた両親に連れられてだった。私が国民学校(小学校)五年生の時である。道中、両親から



空襲で家が焼けてしまつて父の知人の家の二階で仮住まいしていること。姉は女学校の学徒動員でたまたま難を逃れたが、父母は、雨のように降る焼夷弾の中を必死で逃げたなどの話を聞きながら廃墟になった住宅街を歩いた時のことは、いまだにまぶたに生々しい。これこそは、まったくの人災だった。どんな大義名分や理屈をこねたとしても、双方に大勢の犠牲者が出る戦争ほど無意味な悪はない。



今回の東北の惨状は、私たち人間に対する積み積もった自然界の怒りの爆発であろうか。土、水、光、生物が生きていくのに必要なものすべてを太古の昔から十分に供給しているにもかかわらず、まだその上に原発だど！ 喝！ そんな自然界からの大音声が聞こえてくる。人間の欲望にはきりがない。もつともつと思つて足るを知らない欲張り爺さんや婆さんが最後にすべてを失う寓話は、洋の東西を問わずたくさんある。

少なくとも、私の経験した三大災害の大半は、私たち人間に叡知というものがあるとするならば、未然に防げるものではないだろうか。願わくは、板きれに乗ってどこかに流されたり、土中深くもぐつて危うく生き延びた東北のもぐらがいるならば、この際、是非会つて、今こそ、その目を借りたいものである。

「みんなが行くような高校に行きたい！」自閉症で重度の療育手帳（知的障害）を持つ息子・ふみひろが、この春高校受験に挑戦！結果、「まさか」の定員割れで全日制の公立高校普通科・野崎高校に入学することができました。遠足、中間考査、球技大会を経験し、現在、朝は時々遅刻しながらも自力で登校、下校の自立を模索中です。障害を持たない生徒と共に過ごす学校生活は、課題も多いけれど、学びも豊かだと感じるこの頃……。さて、今号では、障害を持つ生徒の中卒後の進路について、どのような選択肢があるのかということについて書いてみたいと思います。

検査。検査として、生活に必要な基礎的な知識を、筆記試験の形で問われます。

それ以外の府立高校を受験する場合、前もって「配慮事項」を申請して、問題用紙の拡大、別室での受検、中学校教員の付き添い等、入試の際に必要な配慮を得ることが可能です。



## 重度の療育手帳を持つ息子、高校受験に挑戦しました！（その2）

### ◆探せば、ある！ 障害を持つ子の中卒後進路の選択肢

「支援学校以外に行きたいなら、私学がお薦めよ〜♪」周囲の先輩母に聞くと、こういうことをよく聞きました。私立の高等学校の中には、障害を持つ生徒を受け入れているところがあります。高校説明会で一つ一つ話を聞いてみると、受け入れてくれる学校が見つかるよ、ということ。また、高等専修学校といって、高等課程を設置している専修学校の中には、きめ細かい対応で発達障害や知的障害を持つ生徒を受け入れているところもいくつかあります。受け入れの状況は年々変わっていくから新しい情報を調べた方がいい、実際そこで学んでいるお子さんの保護者から話を聞くのが一番だ、ということ。少子化ということもあり、障害を持つ生徒を受け入れていく方向にあるから、「うちの子は重度だから無理」とあきらめない、年に何度も開かれるオープンスクールや見学会に参加して、学校から詳しく話を聞き、感触を探ることが大切だ、と聞きました。

### ◆府立高校には、特別の制度も

一方、府立高校の中には、「知的障がい生徒自立支援コース」といって、一般生徒と共に同じクラスで学びながら、知的障害を持つ生徒のための独自の課程が設けられているところがあります。また、「共生推進教室」といって、東大阪にあるたまがわ高等支援学校に籍を置いて、府立高校で他の生徒達と同じクラスで学ぶ制度もあります。

(<http://lip.zz.tc/201107> 参照)

以上二つの選抜方法は、調査書、推薦書と面接で、筆記試験はありません。たまがわ高等支援学校というのは、知的障害を持つ生徒のための高等部だけの支援学校で、職業に関する専門教科を主に学ぶ、とされています。選抜方法は、調査書、推薦書、面接、

大阪府では、過去約十年間「定員内不合格」は出していないそうです。すなわち、生徒募集の人数より受験生徒の数が少ない「定員割れ」であれば、たとえ零点でも府立高校に入学できる可能性が大いにあります。ついでにいうと、「自立支援コース」や「共生推進教室」は府立高校の前期日程です。それらのコースや、またそれ以外の高校を受験する場合、支援学校との併願が可能です。

それ以外の選択肢として、通信制や単位制の高校があります。いろんなオプションをつけて毎日学校に通うこともできるのだそうです。更に、身体づくりや生活習慣を身につけるためのしっかりしたシステムを持つ全寮制の四国の支援学校への入学を選んだお友達もいます。

### ◆「零点でも、定期テストは受けさせて！」入学時から、「高校受験」を宣言

息子の進路については、直感的に府立高校が合っている気がしました。きめ細やかな配慮というより、むしろ、みんなの中に多少の配慮を得ながら一緒にいるということ。そこから多くのことを学べるだろうと感じたのです。

「公立高校受験には内申書が大きな意味を持っている。内申書の数字を出してもらうために、みんなと同じ定期テストは、たとえ零点でも受けさせてもらわなければ。入学時から、『公立高校を普通に受験するつもりです』と言って、定期テストを受けておくことが大事よ！」先輩母にそう教えてもらい、中学入学後の懇談では、まず、そのことを言いました。

✍️（豊高文滉の母・豊高明枝）

[表紙から続く]

「安全」の根拠は、  
国際放射線防護委員会 (ICRP) の定めた基準

このように低線量の放射線被曝による健康障害の評価をめぐる意見が対立しています。原子力や放射線の専門家の多くは国際放射線防護委員会 (ICRP) の見解に基づき、低線量被曝による健康被害はわずかなものだと「心配するほどのことはない」という立場をとっています。しかし、日本の専門家の中でも低線量被曝の健康影響をこれまでより厳しく見るべきだという意見を持つ人たちも増えてきています。特にチェルノブイリ原発事故による放射性物質が降下したスウェーデンでガン死者が増大した事実が2004年に論文で明らかにされて以降、そのような動きは強まっています。日本での議論はようやく始まったばかりですが(唯一の被爆国といいながら情けない現実です)、欧州では10年以上前から専門家の中で低線量被曝の健康被害の評価に関して論争が行なわれてきました。このたびの東京電力福島第一原発事故の影響で国際的な論争が再び活発になっ

ミリシーベルト) のガン死リスクは0.05です。わかりやすくいうと、1シーベルト浴びると200人に1人がガンになるということです。したがって、20ミリシーベルトは1シーベルトの50分の1なのでガン死リスクは0.001、1万人に1人ということになります。

4年前のICRP勧告が切り捨てたものは……?

地球温暖化問題が急浮上したここ10年余りのあいだに、それを追い風として、「二酸化炭素を出さない発電方式」=原子力発電という宣伝が行われ、原発増設の動きが活発化しました。このような「原発ルネサンス」と呼ばれる状況の到来とともに、ICRPは2007年に新しい勧告(ICRP2007)を出し、産業上の便益を考慮し、低線量被曝の影響をさらに軽視する方向に改訂しました。低線量被曝によるガンリスクの値を集団に当てはめるというこれまでICRPが行ってきたやり方(集団線量といいます)をやめるということになりました。

ある個人が1ミリシーベルト浴びたとしても、ガン死リスクは0.00005であり、2万人に1人であり、

ICRP (国際放射線防護委員会) の安全基準は見直されるべき ~ 福島第一原発事故による放射線被害を考える

ています。

ICRPの放射線リスクモデルとは?

国際放射線防護委員会 (ICRP) の放射線リスクモデルは、米軍による広島・長崎への原爆投下以降に米国機関が行った原爆生存者に対する疫学調査をもとに作られたモデルです。原爆の投下によって高線量の放射線が一瞬にして広島や長崎の爆心点から街中に放射されました。放射線の強さは爆心から距離が離れると小さくなっていきます。疫学調査では爆心からの距離とその後のガン発生率との関係が調べられました。ICRPのモデルは、浴びた線量とガン発生率の直線的な比例関係を仮定した物理学的モデルです。得られたデータは高線量の被曝による影響でしたが、比例関係は低線量領域にも続くと仮定して、どんなに低線量でも健康への影響はゼロにならないという閾値なしモデルが採用されました。高線量の被曝による急性障害(急性死、髪の毛が抜ける等)は被曝量がある値以下になった場合は生じないというのが閾値(しきいち)です。しかしもっと低い量の被曝の場合でもガンになる可能性はあります。この場合は確率的影響といって多くの人々が被曝した場合、その中の何人かがガンを発症するというものです。たとえばICRPの基準では、1シーベルト(1000

交通事故や他の事故と比較して、取り立てて騒ぐほどではないということになります。個人の視点のみで考えるなら、このようなリスクはほとんど無視されることによって生活が成り立っているため、心の持ち方によってはほとんど0とされてしまいます。このような個人が1000万人集まっても、 $0 \times 1000$ 万は0なので、気にかけないで良いという事になります。しかし、集団線量の考えでは、 $0.00005 \times 1000$ 万=500人のガン死者が確実に存在するのです。集団線量の考えをやめるということは、この500人は存在しないことにするという事です。福島の子供たちが浴びてもよいとされた20ミリシーベルトを首都圏の1000万の人が浴びたとすると、10000人のガン死者が現実に生まれるのです。政府高官がいう「今のところ」が終わった後やってくるのは、甘いと思われるICRP基準に立ってさえこのような被害なのです。

体内に取り込まれた放射性物質の危険性が  
無視されている……!

しかし、今論争になっているのは、集団線量の考えを取り下げたということだけにはとどまりません。もっと大きな問題は、従来のICRPモデルは体内に取り込まれた放射性物質の影響(内部被曝といいます)をあまり考慮しておらず、それを重視すれば、健康

# かおりのひとりごと かおりのひとりごと

<http://kaori-essay.seesaa.net/>

野添かおり 枚方市在住。神経難病脊髄小脳変性症(の疑い)により、17歳の頃より車椅子生活。独自の感性によるたとえで言葉を紡ぎ、鋭いながらも柔らかさをもって斬り込むことを目指す。世の中を。そして自分自身を。

「したいこと」

何が出来るかなのでなく

僕は何がしたいのか

希望の見えない闇の中

諦めたなら終わりだと

きつといつかは花が咲く

今は闇しか見えないが

諦めたなら永遠に

まばゆい明日は来ないから

自分の無力に沈むより

多くの協力信じよう

僕は確かに非力だが

何かはできるはずだから

きつといつかは日が昇る

今は闇の道だけけど

諦めたなら永遠に

下を向いたままだから

不謹慎かもしれないが

花の苗を送りたい

苦悩の上にも太陽を

それが僕のしたいこと

よる生物濃縮によって魚などの汚染がどこまで広がるかまったく予想が立っていないのが現実です。内部被曝の影響がこれまでいわれていた以上に深刻であることが明らかになってきた状況のもとでは、放射能汚染の問題は、福島周辺だけでなく、流通を通じて関西まで及ぶことは避けがたいと思います。関西に住む私たちも自己防衛が必要だと思ひます。

ちなみに欧州放射線リスク委員会 2010 年勧告は、日本語に翻訳されネットで公開されています。興味のある方はぜひご覧ください。ご感想などありましたらご意見をお聞かせください。

ECRR2010 日本語訳：

[http://www.jca.apc.org/mihama/ecrr/ecrr2010\\_d1.htm](http://www.jca.apc.org/mihama/ecrr/ecrr2010_d1.htm)

文：藤岡毅/同志社大嘱託講師・科学史科学論  
jcf10563@nifty.com

被害の値は激増するということです。戦後の核兵器開発や原子力発電などのため、広島や長崎の被爆者以外にも世界中で放射線にさらされ健康を害する人々がたくさん生まれてきました。原子力施設周辺やチェルノブイリ原発事故で被曝した住民の白血病やガンの発生率はICRPが予想するものよりはるかに高い事実が明らかになってきました。ICRPはこれらの事実を説明せず、データそのものを無視するという立場をとり続けました。そこで欧州議会内の環境派グループが中心となって欧州放射線リスク委員会(ECRR)という組織が結成され、2003年勧告(ECRR2003)の中で低レベルの放射線の危険性をより厳しく見積もったモデルを発表したのです。

## 内部被曝の影響を重視した 欧州放射線リスク委員会の新しい基準……

ECRRのモデルはチェルノブイリ事故後の住民の疫学調査や放射線生物学の新しい知識を取り入れ、内部被曝の影響を重視しています。ICRPに馴染んできた放射線専門家の多くはECRRモデルを受け入れていません。しかしECRRは、バルカン半島やイラクでのウラン兵器使用による影響などの新データを取り入れ、新たに2010年勧告(ECRR2010)を発表し、ICRP批判を強めています。ちなみに福島第一原発から200km圏内の方がそこに住み続けたと仮定すると、50年間のガン増加件数はICRPモデルで6158件、ECRRモデルで416609件という数値になります。

内部被曝は、食物や飲料水によってもたらされます。野菜などの陸上の産物だけでなく、海洋に大量に放出されている放射性物質により魚介類やわかめなど海産物の汚染も進んでいます。特に食物連鎖に



# LIPな人々

(おにんめ)

イ  
ウ  
マ  
↓  
落  
合  
正  
弥  
↓  
合  
田  
孝  
史  
↓  
松  
瀬  
功  
季  
↓  
↓  
↓

LIPって毎月出てるみたいだけど、いったいどんな人たちが作ってるんだろう？ ときどき耳にするそんな疑問にお答えしちゃう！ というコーナーです。  
今月は、記事執筆、折込作業、配布と全面的に活躍している松瀬功季さんです。

こんにちは。合田さんから指名を受けました松瀬功季です。

たので、これからも続けていきたいです。うれしーさー

\* \* \*

「LIP」に初めて関わったのは7年前になると思います。きっかけは、若林さん(LIP元代表)も参加していた「とれぶカフェ」にて人手が

他にも「銭湯」の記事を書こうとしたのですが、最近行けてないです。趣味は献血で、131回(5月31日現在)しています。「LIPな人々 ふたりめ」

## JR一筆書きのライターです

足りないことを耳にして、翌日、お忍びで行き、折り込み作業をさせて頂きました。

の落合さんには及びませんが……。

毎月ではありませんが、何か手伝いたいと思い、自宅近辺～牧野地域および交野市に配布しています。大体、夜間に配布が多いので、翌日の朝に入ってたと感じられている方もいらっしゃるのではと私事ですが思っちゃったりします。

カラオケも好きで、いま流行の一人カラオケをしました。何を歌ったかという(誰も聞いてないか?)

- ・JUJU「また明日…」(ドラマの主題歌)
- ・中島美嘉「Dear」
- ・吉幾三「俺ら東京さ行くだ」

主に記事を書いているのは、「1dayバスカード」「工場見学」「ペットボトルキャップ」。極めつけは「JR一筆書き」。わたし自身ヘルパーをしていることもあり、利用者様の引率または一人旅をして景色を楽しんでいます(殆ど寝ていますが…)。

などなど。  
ネタ不足なので早速探してきますね。

\* \* \*

次回は、鶴島緋沙子さんを紹介します。

LIPを見てくれている人から、「絵を教えてください、知らんかな？」と問合せがあり、紹介したところ喜ばれて嬉しかったです。繋がりを感じ



# イベント・サークル・ボランティア情報

## 【参加者募集!】

### 初心者向け夏のボランティア体験プログラム 「ひと夏のボランティア」

ボランティアをしてみたいけれど、きっかけがなくて……  
そんなあなたのための体験プログラム。知的障がいをもつ  
子ども達と一緒に遠足やレクリエーションを楽しみます!  
若いスタッフがサポートしますので安心です!

- ◆日時: 7/31 (日)・8/6 (土)・8/7 (日) の3日間。
- ◆場所: ラポールひらかた
- ◆対象: 15~30歳代 (中学生不可)
- ◆参加費: 1000円 (入場料・保険料込み)
- ◆定員: 10名 (先着順)
- ◆申込み/お問合せ: 北河内ボランティアセンター  
TEL/FAX: 072-848-4166  
Eメール: npo-kvc@kit.hi-ho.ne.jp

## 【講座】第6回「障害」のある子どもの 高校進学を考える学習会

- ◆日時: 7月23日 (土) 13:30~17:00
- ◆場所: 寝屋川市民会館 2階講義室
- ◆内容: 大阪府教育委員支援教育課から、障害者の高校受験について、
  - ・「自立支援コース」「共生推進教室」の説明
  - ・一般受験ではどんな配慮事項があるのか 等
  - ・質疑応答
 障害のある生徒を高校に迎えて (高校側からの報告)  
 高校受験をめざす障害生徒や保護者からの談話  
 フリートーク、質問、進路相談会も
- ◆参加費: 無料
- ◆主催: 知的障害者を普通高校へ北河内連絡会
- ◆後援: 大阪府教育委員会
- 問合せ: 090-1960-3469 (松森)、090-2110-6547 (松下)

## ~2011年子ども芸術文化育成支援事業~ チャンゴを体験してみませんか

朝鮮半島の伝統打楽器、チャンゴを叩いてみませんか。  
初めての人でも楽しく打てます。独特のリズムは身体に優しく、心が癒されます。

- 日時: 7月10日 (日) 午後1時~3時  
7月17日 (日) 午後1時~3時
- 場所: 枚方市民会館音楽室
- 参加費: 2回で500円
- 対象: 18才以下の人
- 主催: 中宮チャンゴの会
- 共催: 枚方市

### 사물놀이



- 申し込み先: 中宮チャンゴの会 (佐藤)  
TEL/FAX 868-3867  
メール ryuji.morimoto@nifty.ne.jp
- ※中宮チャンゴの会は、じんじん祭り、百済フェスティバル、多文化フェスティバルなどに出演、枚方を中心に活躍しています。

## くらわんか五六市にシャボン玉おじさんs 登場

- ◆日時: 7月10日 (日) 11時~12時くらい
- ◆場所: 三矢公園 みんな、遊びに来てね♪

## みんなでつくる広場「ちょこっと」 7月の予定

- ①《函トレ》  
日時: 7/2 (土) 10時~12時  
場所: 「ちょこっと」 (枚方市楠葉野田2-30-8)  
電話: 072-856-9439 携帯: 080-3916-9147 (山本)  
参加費: 200円  
午後は介護相談
- ②《心と身体健康広場》  
日時: 7/10 (日) 13時半~15時半  
内容: 音楽療法と膝痛・腰痛対策運動  
参加費: 100円  
場所: 楠葉野田区公民館  
申込: 090-9281-3566 (木村) 080-3916-9147 (山本)
- ③《ちょこっとバザー》 食器・雑貨・衣類等  
日時: 7/24 (日) 12時~14時  
場所: 「ちょこっと」
- ④《遊びの広場》 夏休み工作  
日時: 7/26 (火) 13時~15時  
場所: 「ちょこっと」  
参加費: 小学生100円

## 東日本大震災チャリティーコンサート ~七夕に祈りを込めて~

- 被災地への祈りと復興への願いを込めて演奏会を開催します。  
義援金1000円は、そのすべてを被災地に届けます。
- ◆日時: 7月3日 午後1:30開場 2:00開演
  - ◆場所: 星の里いわふねホール (京阪私市駅歩4分)
  - ◆入場料 (義援金): 1000円
  - ◆主催: 交野市音楽協会・真声会大阪支部
  - 問合せ: 小島さん (TEL 072・892・8144)

## 大阪府高齢者大学校 特別公開講座 心

この公開講座は、高大の現行教科に無い教科の新設の為に、アンテナ講座として開講します。それだけに授業内容も工夫し、特に「心」の問題を大切にしたい新機軸を入れたものにします。

- 日程 2011年8月29日 (月) ~ 9月2日 (金)
- 各科目: 5日間 10:00~12:00
- 主会場: 大阪市教育会館 3階  
大阪市社会福祉情報センター (シニア料理教室)
- 授業料: 1コースにつき8000円 (各コース: 5日分)
- 主催: NPO法人 大阪府高齢者大学校 教務部  
大阪市中央区法円坂1-1-35 大阪市教育会館  
(アネックス パル法円坂)
- 電話: 06-6360-4400 FAX: 06-6360-4500  
メール: okd\_office@rouge.plala.or.jp

## コース3 やさしいエッセー入門講座

- 講師: 鶴島緋沙子
- 日々の暮らしの中で、ふと気付いたことを書き留める講座です。
- 日程: 8月29、30、31日 9月1、2日

**LIPは、次の場所に置かせていただいています。**

**枚方市**

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3Fウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町 20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [招福寺南町 2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティーカフェ ラテール [西禁野 1-3-27 禁野口バス停前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [長尾町 6-39-15 lilian@kcat.zaq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シヤルム [南楠葉 1丁目 2-16 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町 8-17 072-846-5377]
- ★ たこやき・おこのみ けんちゃん [大峰南町 7-1 スーパーワカバ内 072-859-4155]
- ★ 街かどデザインハウス 藤政愛逢 [藤政元町 2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 桶菓店 [楠葉並木 2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町 2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西禁野 2-4-17 第5松葉ビル 301 072-805-5252]
- ★ ヘアサロンかむら [長尾東町 3-1-4 072-859-1601 (予約優先)]
- ★ ソーイングの店 みなよし [香里ヶ丘 3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 喫茶&アンティークショップ Squirrel(スクワール) [宗谷 1-1-1 072-859-2475]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび [南楠葉 1-30-1 エクセレント辻ビル 203号室 072-856-9177]
- ★ 割烹 千鳥 [岡東町 12-13 ひらかたさんぽらざB1F 072-843-8114]
- ★ WAVE34(ボウリング場) [田口 4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアスタジオばべば [南楠葉 2丁目 4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [大垣内町 2丁目 1-20 072-841-1221]
- ★ (財)枚方市文化国際振興団 [岡東町 8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 食育ステーションまきの [枚野本町 2丁目 19-2 072-397-2111]
- ★ 社会福祉法人 心愛 心学塾作業所 [大峰元町 1丁目 21-5 072-859-9194]
- ★ 紅茶専門店VIE [南楠葉 1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャソース [枚野下島町 14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [山之上 2丁目 16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [村野西町 1-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじみょうす [交北3丁目 3-10 072-856-8378]
- ★ 全労済大阪府本部 共済ショップ枚方 [大垣内町 2-10-4 宮村第三ビル 3F 072-804-5550]
- ★ 健康・福祉プラザ 助さん・たくさん [大峰元町 1-1-1 072-858-8565]
- ★ エステのお店 ジョセフィン心ま [枚野坂 1-23-5 枚野駅前デパート 2F 072-851-8727]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [堤町 2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルボ・デ・ミディ [堤町 10-12 072-843-1525]
- ★ マイウェイひらかた ワーク草笛 [藤政天神町 3-1 072-808-2031]
- ★ ミュージック・ケアハウス「花音」 [川原町 3-1 クラウンビル4階 072-841-8822]
- ★ たかほま歯科医院 [津田駅前 2丁目 17-1-108 072-896-1180]
- ★ 渦潮ペーカリー桶菓店 [町楠葉 1-30-6 072-856-5420]
- ★ 枚方市野外活動センター [總谷 4550 番地 072-858-0300]
- ★ 社会福祉法人くこみ会「清水園」 [津田 873-2 072-896-1600]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [車塚 1-1-1]
- ★ 三代目たくちゃん ピーコ [枚野坂 2丁目 7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚野坂 2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚野坂 2-5-23 0120-39-7003]
- ★ NPO法人パーソナルサポートひらかた [中宮山戸町 10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [岡東町 24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ MogaJogaDining 枚方宿 [堤町 2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [宇山町 4-8 072-866-5667]
- ★ (社)やなぎの里 精神障害者通所授産施設「ほむす」 [大字尊延寺 2200 072-859-0245]
- ★ ぶらっとホーム・すかまらひかし [藤政東町 3-1-11 072-859-5005]
- ★ とくふうホーム [大字尊延寺 4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚野下島町 9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちょここと」 [楠葉野田 2-30-8 072-856-9439]
- ★ スパイル枚方南 [津田山手 1丁目 24-1 072-808-4126]
- ★ 本とカフェ Benedetta [町楠葉 1-6-25 寺山ビル2F 080-6115-8133]

**そのほか**

- ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原 955 072-696-3351]
- ★ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター [京都市伏見区塚本町深草 67 075-645-2047]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町費田船戸 38-1 0774-88-5846]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2 0774-88-2394]
- ★ 福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター [福山市三吉南 2-11-22 084-928-1346]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市欽明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 寝屋川市立市民活動センター
- ★ フレッシュペーカリー ラッキー [寝屋川市早子町 18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアサロンおおまち [交野市私部 3-17-2 072-891-5024 (予約優先)]
- ★ たこやき屋 中角 [交野市倉治3丁目 52-1 072-891-4022]
- ★ レストラン ジュリア [交野市私部3丁目 11-3-2 072-891-2288]
- ★ NPO法人 ゆい心(結夢) [交野市私部7丁目 12-58 072-810-7880]
- ★ 作業所クローバー [交野市郡津5丁目 9-3 072-894-4822]
- ★ えんであら作業所 [交野市天野が原町2丁目 14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産施設 ミルキーウェイ [交野市天野が原町2丁目 14-20]
- ★ 交野市役所 市長公室 [交野市私部 1丁目 1-1]
- ★ きさいち植物園ファンクラブ事務局 [交野市私市 7-19-14 072-894-0840]
- ★ わくわく科学館 [交野市私市 6-10-2 080-3819-7292]

**移動配布所**

- ★ ファンバルクイナ音楽隊 一出前出張音楽隊—  
[funbal@mail.goo.ne.jp 090-6055-8312]

いつも応援ありがとうございます！

**LIP 応援団**

枚方アルコール関連問題を考える会  
多田頼子さん

**LIP 会計報告 (前号以降)**

金額(円)	内容
67615	前号から繰り越し
2	利子
350	ブックレット1売り上げ
7000	応援団
▼2480	郵送代
▼4736	6月号印刷代
67751	計 (次号へ繰り越し)

★今月寄付をいただいた「アルコール関連問題を考える会」の方から、うれしいお便りをいただきましたので、許可を得て以下に掲載させていただきます。

＝＝＝＝＝

「アルコール関連問題を考える会」は現在、事情により、昨年9月より休会しており、LIPの掲載依頼も必要なくなり……「枚方・地域連携勉強会」では、毎回LIP掲載でお世話になっていますので、「アルコール関連問題を考える会」の会計整理により、このような時期にはなりましたが、休会前のLIP掲載の感謝のお礼をすることにしました。

今まで、LIP掲載により「アルコール関連問題を考える会」、「枚方・地域連携勉強会」に、「LIPを見て……」と、一般市民の方々、今までお付き合いのなかった支援機関の方々のご参加をいただくことができていました。ほんとに感謝しています。

今後も、よろしく願いいたします。  
心からの感謝を込めて・・・菊地美穂子

＝＝＝＝＝

★LIPは市民が書き、市民が作る地域密着型情報紙です。ご意見・ご感想・投稿など、いつでもお待ちしております。(w)

表紙下段、P. 5イラスト：平井由恵



「枚方市民にだけ」  
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索